

さんらいずにゆうす

学校だより

2026年3月13日
2・3月号
日出学園小学校
校長 荻原 巖

ごあいさつ

校長 荻原 巖

プロムナードの桜のつぼみが日増しに膨らみ、柔らかな春の光が子どもたちに降り注いでいます。いよいよ明日は卒業式、16日は修了式になります。1年前の始業式から今日まで、一日一日を大切に歩んできた子どもたちが、それぞれの学年の課程を修了する節目の日を迎えます。今年度、「凡事徹底」という言葉を朝礼でも生活目標でも取り上げてきました。「当たり前のことを、誰にも真似できないほど徹底してやる」というこの言葉は、一見すると地味で、根気のいる取り組みです。「元気よく挨拶をする」「靴のかかとを揃える」「時間を守る」等、どれも特別な才能を必要としない、当たり前のことばかりです。しかし、この当たり前のことを、毎日、妥協せずに続けることは、大人であっても決して容易なことではありません。節目を前に、改めて校内の様子を見渡すと、そこには確かな成長の跡が刻まれています。整然と並んだ下駄箱の靴、授業が始まる前の静寂。これら一つひとつの「凡事」の積み重ねは、単なる習慣を超え、学校全体の落ち着きと、子どもたち一人ひとりの内面にある「自律の心」へとつながっていると思います。4月からは、6年生は中学生のスタート、在校生はそれぞれ進級した学年で新入生を迎えます。それぞれのステップアップしたステージでのひのでっ子としての活躍を期待しています。こうした子どもたちの変化と成長は、学校の指導だけで成し遂げられるものではありません。何より、保護者の皆様の温かい「伴走」があったからこそです。朝、眠い目をこするお子様を笑顔で送り出してくださったこと、家庭でも基本的な生活習慣を根気強く伝え続けてくださったこと、そして何より、学校の方針を信じ、共に歩んでくださったこと。その一つひとつのご理解とご協力が、学校での学びを「本物の習慣」へと変えてくれました。多大なるご支援をいただきましたことに、教職員一同、心より深く感謝申し上げます。

ご退職の先生方からメッセージ

今となっては、あっという間の43年に感じます。赴任当時はまだ現役のスポーツ競技者で、全日本体操競技選手権兼オリンピック予選・国民体育大会(国民スポーツ大会)に参加しました。また、日出学園体操クラブの名前で多くの子供たちと大会に参加したりして、自由に活動をさせて頂きました。

行事では、スキー教室、6年生自然教室に毎年のように引率として同行し子供たちと楽しく活動したことを思い出します。昔の宿泊学習は、長かった行事もゆっくりで、ゆとりがありました。震災とコロナで短くなってしまっただけです。思い出せは楽しい時期に日出学園で子供たちと過ごせて幸せだったと思います。時間に追い立てられるような、忙しいことがありますが、心だけはゆったりとした気持ちを大切にしていきたいものです。



体育科 内田敏貞

いのちの授業

卒業を間近に控えた6年生は「命」をテーマにした授業を受けました。両親から授かった命がこの世に誕生する確率は気が遠くなるほどの低い確率の奇跡なのです。そして、人は一人ひとり違う個性を持ち、同じ命は二つとない存在であることを学びました。

自分の命がどれほど大切で、どれほど特別なものなのか。周りとは違うことは「自分らしさ」であり自分だけの個性であること。卒業という節目に子どもたちは「あなたはあなた」という大切なメッセージを胸に刻み、それぞれの未来へ思いを巡らせる時間となりました。

Select Learning

本校では「自分の考えを表現し学びを深める～効果的な学習活動を通して～」を主題にして研究に取り組んでいます。目標は、「自分で学べる子の育成」です。低学年では外部講師による冒険教室を実施し、未知のものに挑戦することの大切さについて考えました。高学年ではselect learning(選択授業)を行い、国語、算数、理科、社会、図工、音楽、体育、英語の講座から、自分の興味のある二つの講座から選び受講しました。今年度は「見えない違い」を共通テーマとし、各教科で授業を行いました。子どもたちは学習を通して、人によって考え方や感じ方、表現の仕方には違いがあることに気づき、他者の意見と自分の考えを比べながら学びを深めました。授業後にはレポート作成を行い、select learningで学んだ内容を振りかえることで、子どもたちは「見えない違い」について考えることができました。



2025年度 書き初め展

金賞



高岡 健助

若草もえろ道

六年 高岡 健助

中田 夕香子

あらたな決意

五年 中田 夕香子

長谷川 董

雪どけ水

四年 長谷川 董

たけ田 青士

とりの声

三年 武田 青士

銀賞

六年 廣田 結衣	五年 高橋 清香	四年 水野 元晴	三年 飯島 咲希
		四年 長島 琢翔	

銅賞

六年 岡村 若奈	五年 横山 まな	四年 桑原 史明	三年 中村 一弘
		四年 島崎 創一朗	
		五年 青山 凛大	
		五年 康 辰曦	
		三年 椀沢 春仁	

ラジオ体操コンクール入賞！！

「第12回全国小学校ラジオ体操コンクール」で3・4年生の取り組みが入賞しました。

3年生はICTを活用し、1年生に動画で体操のポイントを伝えるなど、異学年交流の中での、意欲的で主体的な学びを評価され、取り組み部門「かんぼ生命特別賞」を受賞しました。

4年生は細かな動きや表情まで磨き上げ、「アネモネチーム」が技術部門「エリア奨励賞」、「未来が光るラジオ体操チーム」が「ルーキー賞」を受賞しました。朝礼にはかんぼ生命の方がかんぼ君と来校し全校で喜びを分かち合いました。

入賞チームは体操朝礼のお手本として、全校の前で堂々とラジオ体操を披露してくれました。県内唯一の入賞校として来年も更なる高みを目指して、頑張りましょう。



社交ダンスに挑戦しました。

1月15日、3年生の体育の時間に「キッズスポーツチャレンジ」としてプロ講師を招き、社交ダンス体験を行いました。華麗なお手本に圧倒された子どもたちも、基本ステップを重ねるうちに「意外と踊れる！」と笑顔が見られました。パートナーを変えながら踊る中で自然な交流が生まれ、会場はまるで舞踏会のような雰囲気になりました。

講師の方の豪華な衣装にも触れ、社交ダンスの文化への興味も高まった様子でした。今後の体育の授業でも、楽しむ気持ちを大切に色々なことに挑戦してほしいです。



組紐特別授業～伝統と可能性を学ぶ～

4年生の社会科特別授業として、日本の伝統工芸「組紐」を学びました。講師は日本橋「龍工房」の福田さんです。本校卒業生でもある大先輩の来校に温かな雰囲気の中で授業が始まりました。「水と空気以外はすべて組める」という福田さんの言葉は子どもたちを驚かせていました。組紐がオリンピックやワールドカップのメダルの紐、エルメスやキャノン製品にも使われていると知り、驚きの声が上がりました。子どもたちは真剣なまなざしで組紐を実際に手に取り、その強さや美しさを体感していました。伝統を守りながら、可能性を広げる姿勢は、子どもたちの未来へ大きな刺激となりました。



＊～保護者パトロールのご協力ありがとうございました～＊

保護者の皆様には、日々お忙しい時間の中で、子どもたちの登下校の見守り、「保護者パトロール」にご協力いただきましてありがとうございました。ご報告いただきました内容は、日々の指導や称賛に活用しております。子どもたちが安全に、且つ礼儀正しく公共の場や乗り物を使い、気持ちよく通学できるよう、今後も学校とご家庭とで協力していきたいと思っております。何卒よろしくお願いたします。